

今月の Pick Up

編集室がピックアップした旬な話題をお届け！
詳しくは各ホームページをご覧ください。

01 手続きはお済みですか 高知市住民税非課税世帯等生活支援給付金

物価高騰の影響により特に負担が増大している低所得世帯の方々の生活を支援するため、**1世帯当たり3万円**（1世帯につき1回限り）を給付しています。対象となる方は早めにお手続きください。

提出期限

9月29日(金)必着



支給対象

①令和4年度または令和5年度住民税非課税世帯

書類の返送が必要です

対象と思われる世帯の世帯宛宛てに「支給要件確認書」を6月以降順次送付しています。まだお手元にお持ちの方は、期限までに同封の返信用封筒でご返送ください。

②令和5年1月～9月のいずれかの月の収入が減少した家計急変世帯（課税世帯）

申請が必要です

申請書に記入し、添付書類と合わせて郵送でご提出ください。申請書は総合案内（本庁舎1階）、各地域の窓口センター・ふれあいセンター等で配布のほか、ホームページからもダウンロードできます。

手続きに関するお問い合わせ ▶ 高知市住民税非課税世帯等生活支援給付金コールセンター

☎050-3644-9007（土・日曜日、祝日を除く8時半～17時15分）

対面での書類作成などのサポートをご希望の方 ▶ 家計急変世帯相談・申請サポート窓口（予約制）

場所 本町5-1-45 本庁舎2階222会議室 時間 9時～12時、13時～17時（土・日曜日、祝日を除く）

申込 予約専用電話（☎823-9068）またはインターネット予約サービスで。インターネット予約はこちら ▶



02 犬猫のためのクラウドファンディングへの支援をお願いします

動物も人も幸せに暮らせるまちづくりを推進するために、ふるさと納税を活用した「**かなワンことはニャいき！動物も人も幸せに暮らせる高知市クラウドファンディング**」を実施します。皆さんの温かいご支援をお願いします。

▶ 実施期間 **9月20日(水)～11月30日(木)**

▶ 目標金額 **250万円**



寄付金の使い道

- ・飼主のいない猫の不妊去勢手術費用の補助
- ・中央小動物管理センターに収容されている犬猫の譲渡を推進
- ※目標金額を超えた場合は、動物愛護関連事業に活用します。

寄付するには

ふるさとチョイスHPの高知市のプロジェクトページ（9月20日(水)公開予定）へアクセスし、ご希望の寄付金額を入力の上、申し込みをお願いします。サイトから寄付ができない方は、生活食品課へお問い合わせください。

お礼

本クラウドファンディングには、お礼の品はありません。寄付金を活用して、事業を推進することによって、皆さんのお気持ちにお応えすることとし、お礼に代えさせていただきます。

その他

ふるさと納税の制度を活用したものであり、寄付金については必要な手続きをとることで税控除の対象となります。

【問い合わせ先】生活食品課 ☎ 822-0588



平成14年に本市で始まった「いきいき百歳体操」。この日は体操のお兄さんがゲストで登場し、会場は大盛り上がり。お兄さんの掛け声に合わせてみんなで楽しく体を動かしました。

DATE ■ 2023/8/3
PLACE ■ はりまや橋小学校

高知市の SNS

高知市人事課
公式フェイスブック
「高知市人事課「職員採用情報」」

アクセスは
こちら ▶



職員採用に関連する情報を中心に発信しています。今後は高知市役所の仕事内容や、採用職種ごとのちょっとした情報なども紹介していく予定です。興味がある方は、ぜひご覧ください。

高知市の人口と世帯

令和5年8月1日現在

人口(前月比) ▶ 31万7,473人 (-126人)

男 14万8,500人 (-38人)

女 16万8,973人 (-88人)

増加 出生162人 転入等583人

減少 死亡330人 転出等541人

世帯(前月比) ▶ 16万4,573世帯 (-3世帯)

増加 転入373世帯 その他182世帯

減少 転出309世帯 その他249世帯



おらんく家の 元気人！ Vol.6



profile >>> 宮元 典子 Miyamoto Noriko (71)

市の交通安全指導員として、一宮東小学校区で、20年以上ほぼ毎日早朝街頭指導を行う。同校区交通安全母の会会長も務める。

子どもたちを守る地域の母

「おはよう、気を付けてね」「いつてらっしゃい」と、交差点でランドセルを背負った子どもたちに笑顔で声を掛けるのは、交通安全指導員であり、交通安全母の会の会長でもある宮元典子さん。車や自転車が目まぐるしく行き交う交差点で、黄色い旗を片手にパワフルに動き回ります。

宮元さんの住む地区の交通安全指導員は現在2人。担い手がなかなかいない中で、宮元さんは積極的に活動しています。

交通安全の活動をしていて嬉しいことは、「たくさんの人と会話ができること」だそうです。子どもたちや地域の人と顔見知りになり、挨拶や何気ないやりとりを交わすことがやりが

いになっています。

最近では、地元のスーパーで買い物をしていると、成長した卒業生から、「おばちゃん、まだ続けようが」と声を掛けられることも。自分を覚えていてくれる子どもたちとの交流も、長く活動を続ける原動力の一つになっています。

そんな宮元さんの願いは、「みんなが思いやりを持ち、交通マナーに気を付けることで、事故が少しでも減ること」。地域の母として、これからも宮元さんのパワーと笑顔が子どもたちの安全を守ります。



▲子どもたちに笑顔で声を掛ける宮元さん